

教育民生委員会 行政視察報告

5月13日から15日にかけて、委員8名、事務局随員2名、執行部2名で、東京都豊島区、まちの保育園、渋谷はるのおがわプレーパーク、三鷹市役所を視察してまいりました。

■東京都豊島区

「終活支援」について

豊島区は東京23区の西北部に位置しています。面積は13.01平方キロメートルで、23区中18番目の広さであり、日本一の人口密度と単身高齢者世帯割合が高い、公園面積が23区最小であるなどの都市課題を有しています。



▶東京都豊島区

単身高齢世帯が多いこともあり、「日本一の高齢者にやさしいまちへ」として総合戦略として掲げ、その一環として終活サポート事業を実施しています。

事業の目的としては、人生の終末を迎えるにあたり、介護、葬儀、相続などについて希望をまとめ準備を行うこと（終活）について、区民の不安や悩みを解消することにも、今後の生活をより豊かで充実したものとするを目的としています。事業の対象者は区内在住の概ね65歳以上の高齢者とその家族とし、主な業務内容としては相談業務、終活情報登録、普及啓発です。

終活支援プログラムの成果を確認したところ、認知症や意思の疎通がでなくなる前に支援に入ること、本人の意思を尊重した形で相談に乗ることができているという回答がありました。60代をターゲットにしていることも、元氣な内に終活について考えてもらうためとのことでした。広報や出張講座も健全な間に手を差し伸べる啓発活動として行っています。

■まちの保育園

「レッジョ・エミリア・アプローチ」について

まちの保育園では、イタリアのレッジョ・エミリア市発祥のレッジョ・エミリア・アプローチを積極的に取り入れた幼児教育を行っています。



▶まちの保育園

園長はレッジョ・エミリア市の取り組みをそのままねずることはできないので、各地域が持っている特色を反映し、子供の特性に合わせてどう

いったことができるかを子供に寄り添い、体系化することが重要であると考えています。このような教育方針は、「そろえる教育から伸ばす教育へ」とした新たな教育ビジョンを掲げる加賀市として学ぶ点が多々ありました。

■渋谷はるのおがわプレーパーク

渋谷はるのおがわプレーパーク

はるのおがわプレーパークは代々木公園のすぐ隣、渋谷の真ん中にある自然の中で思いつきり遊べる公園です。



▶渋谷はるのおがわプレーパーク

「子供たちの責任で自由に遊ぶ公園」をテーマに、子供たちの「やってみたい」を最大限カタチにする遊び場で、子供たちの興味があれば、普通は禁止されるような火遊びや泥遊びなどがプレーリーダーと呼ばれる大人と一緒に遊べます。

■三鷹市

コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育について

三鷹市は面積16.50平方キロメートル人口約19万人、コミュニティ・スクールは約20年前から導入されています。

三鷹市ではコミュニティ・スクールを基盤とした市小・中一貫教育校としており、それぞれを「学園」として、「三鷹市小・中一貫カリキュラム」に基づく授業を行っています。子どもたちの9年間の学びに責

任をもち、学園内の交流により、一体感のある教育を行っています。

また三鷹市はコミュニティ・スクール委員会を設置し、学校と保護者の代表、地域の関係団体や協力者が学園を支える体制を取っています。そうすることで、コミュニティ・スクール委員会の任期終了後にまちづくりの関係者へシフトしていくような、地域づくりの人材育成を行うといった狙いもあるそうです。



▶東京都三鷹市役所

■視察を終えて

今回の視察事項については、今後の委員会の取組、提案に生かしていきたいと思えます。